

令和3年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	大月市七保町瀬戸上和田	地区名	国道139号 (上和田バイパス)	事業主体	山梨県																																																																																
計画期間	当初計画	現計画	(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																																																																					
	H20~H29	H20~R4	変更計画	H20~R7																																																																																				
総事業費	2,450 百万円	3,250 百万円	4,234 百万円																																																																																					
(1) 事業の概要			①地域・住民の意向状況 変化なし																																																																																					
①事業目的及び効果			②産業・経済情勢 変化なし																																																																																					
<p>一般国道139号は、静岡県富士市を起点とし、東京都奥多摩町に至る幹線道路であり、大月市から県境にかけ第二次緊急輸送道路に指定されている。当該地区は、幅員狭小で道路線形も悪く、大型車のすれ違いが困難など交通の隘路となっており、落石や土砂崩落などが頻繁に発生している。また、平成26年11月の松姫バイパス開通に伴い交通量が増加していることから、早急な道路整備が必要である。</p> <p>□主要目標 ○災害に強い道路の確保 危険度(落石等): 要対策、要監視箇所あり 損傷度等(落石等): 通行止め実績(過去3年間) 6回>2回以上※ ※評価基準値 緊急輸送路の指定: 指定有り(第二次緊急輸送路) 自動車交通量 699台/12h (H22センサス) < 3,428台/12h (平日) 以上※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 □副次効果 ○アクセス機能の維持</p>			③国等の方針 変化なし																																																																																					
②事業概要			④上位計画・関連事業計画等 「山梨県強靱化計画」(令和2年3月改訂) 「山梨県社会資本整備重点計画-第四次-」(令和3年3月改定) 「山梨県広域道路交通計画」(令和3年3月策定) 「山梨県道路の整備に関するプログラム」(令和3年3月改定)																																																																																					
③全体計画			⑤自然環境条件等 変化なし																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和2年度まで</th> <th>令和3年度 (評価実施年度)</th> <th>令和4年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事</td> <td>トンネル工事</td> <td>トンネル工事 道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,679 百万円</td> <td>350 百万円</td> <td>221 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事</td> <td>用地補償 道路改良工事</td> <td>道路改良工事 トンネル工事 橋梁工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,096 百万円</td> <td>203 百万円</td> <td>935 百万円</td> </tr> </tbody> </table>					令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	令和4年度以降	現計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	トンネル工事	トンネル工事 道路改良工事	事業費	2,679 百万円	350 百万円	221 百万円	変更計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	用地補償 道路改良工事	道路改良工事 トンネル工事 橋梁工事	事業費	3,096 百万円	203 百万円	935 百万円	⑥その他 変化なし																																																														
		令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	令和4年度以降																																																																																				
現計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	トンネル工事	トンネル工事 道路改良工事																																																																																				
	事業費	2,679 百万円	350 百万円	221 百万円																																																																																				
変更計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	用地補償 道路改良工事	道路改良工事 トンネル工事 橋梁工事																																																																																				
	事業費	3,096 百万円	203 百万円	935 百万円																																																																																				
<p>※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。</p>			(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]																																																																																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>着手(I期)</th> <th>着手(II期)</th> <th>再評価時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>1,500</td> <td>950</td> <td>3,250 百万円</td> <td>4,234 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工期</td> <td>H20~H24</td> <td>H25~H29</td> <td>H20~R4</td> <td>H20~R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">経済効率性</td> <td>評価基準年</td> <td>H19</td> <td>H25</td> <td>H28</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1,401</td> <td>883</td> <td>3,086 百万円</td> <td>4,741 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1,295</td> <td>832</td> <td>2,912 百万円</td> <td>4,553 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td>106</td> <td>51</td> <td>174 百万円</td> <td>188 百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮</td> <td>2,257</td> <td>934</td> <td>3,743 百万円</td> <td>5,643 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行費用減少</td> <td>2,007</td> <td>730</td> <td>2,497 百万円</td> <td>4,208 百万円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少</td> <td>238</td> <td>6</td> <td>792 百万円</td> <td>963 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>154 百万円</td> <td>124 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>175</td> <td>300 百万円</td> <td>348 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td>1.6</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>						項目		着手(I期)	着手(II期)	再評価時点	変更計画時点	総事業費		1,500	950	3,250 百万円	4,234 百万円	工期		H20~H24	H25~H29	H20~R4	H20~R7	経済効率性	評価基準年	H19	H25	H28	R3	費用					建設費	1,401	883	3,086 百万円	4,741 百万円	維持管理費	1,295	832	2,912 百万円	4,553 百万円	その他()	106	51	174 百万円	188 百万円	便益					走行時間短縮	2,257	934	3,743 百万円	5,643 百万円	走行費用減少	2,007	730	2,497 百万円	4,208 百万円	交通事故減少	238	6	792 百万円	963 百万円	その他※	12	23	154 百万円	124 百万円			175	300 百万円	348 百万円	B/C		1.6	1.1	1.2	1.2
項目		着手(I期)	着手(II期)	再評価時点	変更計画時点																																																																																			
総事業費		1,500	950	3,250 百万円	4,234 百万円																																																																																			
工期		H20~H24	H25~H29	H20~R4	H20~R7																																																																																			
経済効率性	評価基準年	H19	H25	H28	R3																																																																																			
	費用																																																																																							
	建設費	1,401	883	3,086 百万円	4,741 百万円																																																																																			
	維持管理費	1,295	832	2,912 百万円	4,553 百万円																																																																																			
	その他()	106	51	174 百万円	188 百万円																																																																																			
	便益																																																																																							
	走行時間短縮	2,257	934	3,743 百万円	5,643 百万円																																																																																			
	走行費用減少	2,007	730	2,497 百万円	4,208 百万円																																																																																			
	交通事故減少	238	6	792 百万円	963 百万円																																																																																			
	その他※	12	23	154 百万円	124 百万円																																																																																			
		175	300 百万円	348 百万円																																																																																				
B/C		1.6	1.1	1.2	1.2																																																																																			
④特記事項 (関連事業概要等)			なし																																																																																					
⑤これまでの評価状況 (平成28年度再評価)			<p>(平成28年度再評価)</p> <p>用地取得に関しては交渉を重ねた結果、概ね完了したこと、この事業の完成により、通行の安全性が十分に向上することなどから、見直し案により事業を継続することが妥当である。</p>																																																																																					
			<p>費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上</p> <p>※その他は、災害解消便益、救急救命率向上便益、観光客増加便益、休日交通便益、CO2排出量削減便益</p>																																																																																					

2.評価シート

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要</p> <p>地質調査の結果により、補強土壁や橋梁下部工の軟弱地盤対策、土留め法面補強、トンネル掘削方法を変更し総事業費を800百万円増加するとともに、計画期間を令和4年度まで延期した。(平成28年度再評価)</p>		<p>④事業期間の変更理由及び進捗予定</p> <p>用地取得交渉が難航したことにより、工事進捗が遅れているため、工期を3年延長する。</p>																		
<p>(5) 評価項目 [事業進捗状況及び見込み]</p> <p>①進捗率</p> <p>別表のとおり。</p> <p>令和3年度進捗率(現計画) 93.0%→(実績) 99.8%→(変更計画) 77.9%</p> <p>②進捗率実績が計画と相違している理由</p> <p>計画期間内での完了に向け、事業進捗を図ったものの、用地取得に時間を要したため全体工程に遅れが生じたことによる。また残土処分先の変更や地質の相違による工法変更に伴い工事費が増大することによる。</p>		<p>⑤今後の事業施工における留意点</p> <p>用地も取得したため、変更計画に基づく工事発注を行い事業進捗を図る。</p>																		
<p>③総事業費の変更内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土運搬距離の変更</td> <td>450 百万円 (増減)</td> <td>処分先を近傍の民地から、工事間の流用に変更し、距離が長くなったため</td> </tr> <tr> <td>トンネル工の変更</td> <td>150 百万円 (増減)</td> <td>脆弱な地盤に対する掘削補助工が必要となったため</td> </tr> <tr> <td>盛土の変更</td> <td>100 百万円 (増減)</td> <td>用地交渉の結果、盛土から擁壁に変更になり工事費及び残土量が増加したため</td> </tr> <tr> <td>切土法面対策の変更</td> <td>284 百万円 (増減)</td> <td>地質調査の結果、破碎帯の存在が判明したため</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>984 百万円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		変更工種等	事業費増減	変更理由	残土運搬距離の変更	450 百万円 (増減)	処分先を近傍の民地から、工事間の流用に変更し、距離が長くなったため	トンネル工の変更	150 百万円 (増減)	脆弱な地盤に対する掘削補助工が必要となったため	盛土の変更	100 百万円 (増減)	用地交渉の結果、盛土から擁壁に変更になり工事費及び残土量が増加したため	切土法面対策の変更	284 百万円 (増減)	地質調査の結果、破碎帯の存在が判明したため	合計	984 百万円		<p>(6) 評価項目 [環境負荷等への配慮]</p> <p>環境への影響を考慮し、計画区間の約29%がトンネルとなっており、周辺環境への影響に配慮した計画である。</p>
変更工種等	事業費増減	変更理由																		
残土運搬距離の変更	450 百万円 (増減)	処分先を近傍の民地から、工事間の流用に変更し、距離が長くなったため																		
トンネル工の変更	150 百万円 (増減)	脆弱な地盤に対する掘削補助工が必要となったため																		
盛土の変更	100 百万円 (増減)	用地交渉の結果、盛土から擁壁に変更になり工事費及び残土量が増加したため																		
切土法面対策の変更	284 百万円 (増減)	地質調査の結果、破碎帯の存在が判明したため																		
合計	984 百万円																			
		<p>(7) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>なし</p>																		
		<p>(8) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>なし</p>																		
		<p>(9) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()</p> <p>(理由)</p> <p>用地も取得が来ていることから継続的に事業を実施し整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和7年度の完成を目指す。</p>																		

○別表-進捗率(事業費ベース)

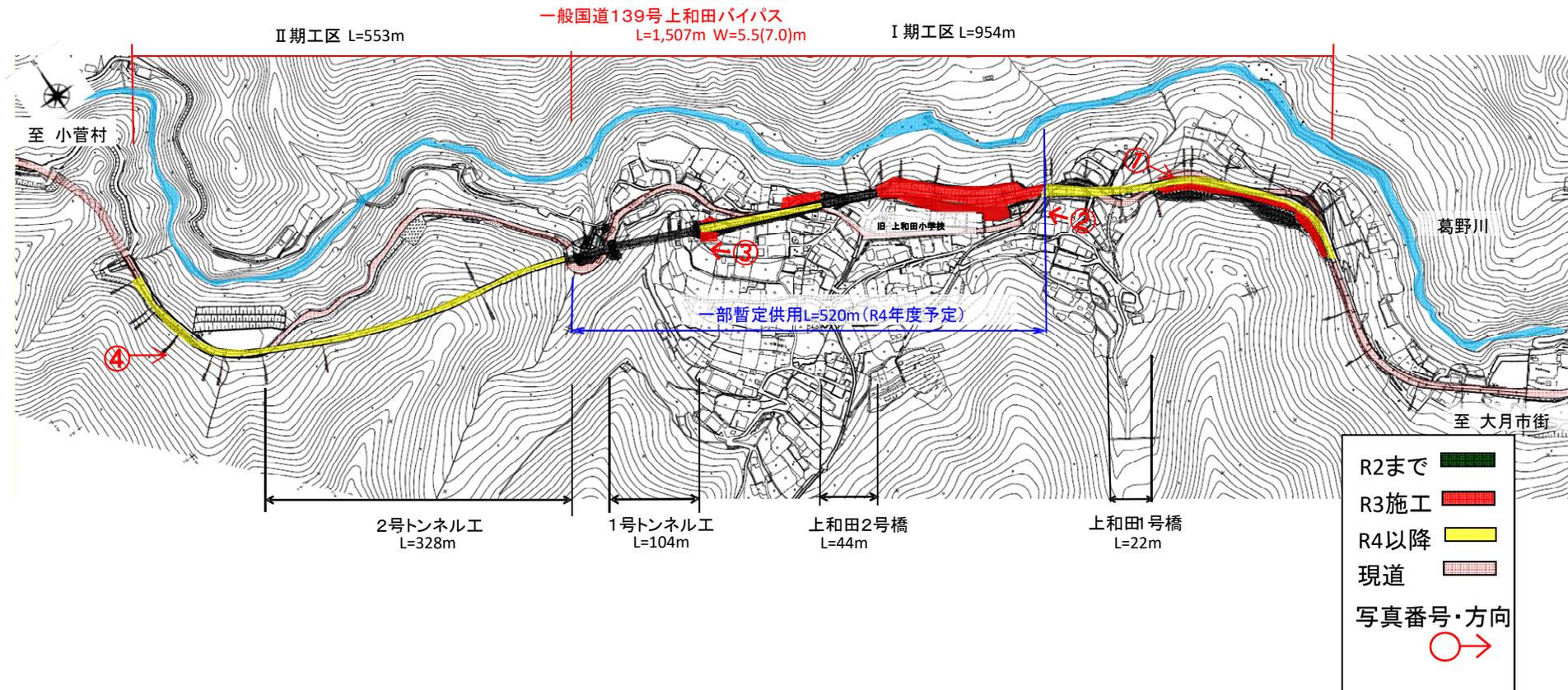
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	*H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5	R6	R7
現	計画	3.6	4.5	5.9	9.2	13.2	21.2	29.4	31.8	34.6	43.8	56.1	65.3	82.2	93.0	100.0			
	実績	3.6	4.5	5.9	9.2	13.2	21.2	29.4	31.8	46.7	53.1	63.3	93.2	98.3	99.8				
変更計画															77.9	89.7	96.8	98.8	100.0

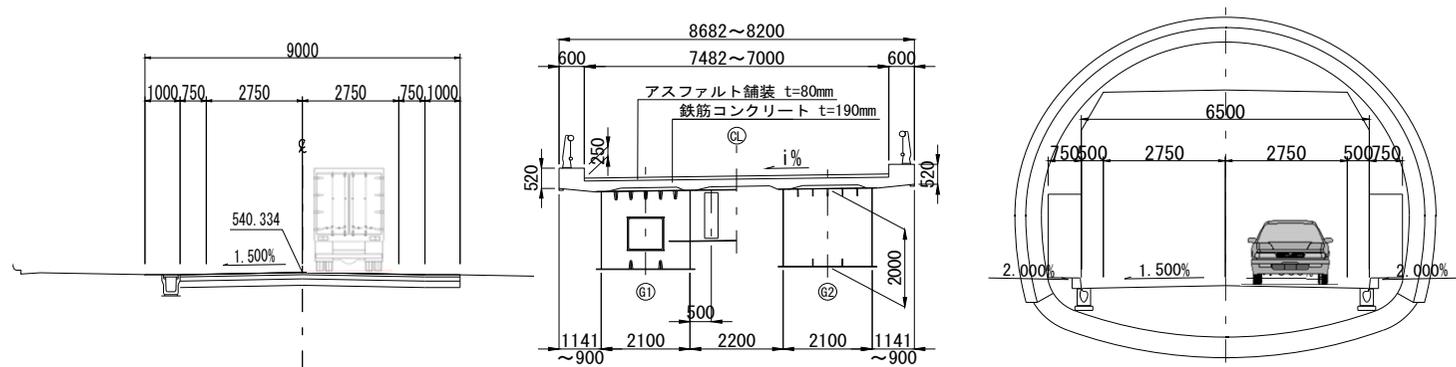
*事業着手年度又は評価年度

3. 添付資料シート(1)

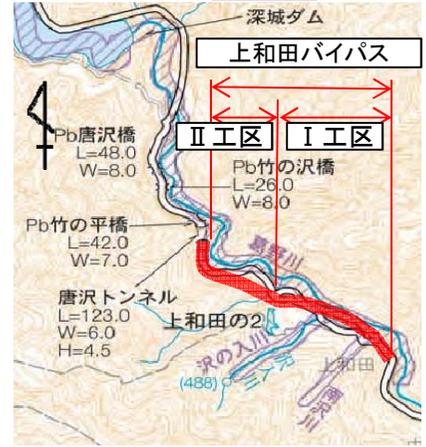
位置図



標準横断面図



位置図



添付資料シート(2)

①起点側(法面工施工状況)



②施工状況(起点側より上和田2号橋を望む)



③上和田1号トンネル(起点側より終点側を望む)



④終点側(2号トンネル終点側坑口位置)



至 大月市街

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H20	118,420	測量、調査、設計	2.2 %
H21	27,920	用地取得・補償、設計	3.5 %
H22	46,000	用地取得・補償	4.5 %
H23	108,617	用地取得・補償、道路改良工	7.1 %
H24	131,126	道路改良工、橋梁下部工（2号橋）	10.2 %
H25	261,327	用地取得・補償、測量、調査、設計、橋梁下部工（2号橋）	16.4 %
H26	266,270	用地取得・補償、測量、道路改良工、橋梁下部工（2号橋）	22.7 %
H27	78,890	用地取得・補償、道路改良工	24.5 %
H28	485,187	用地取得・補償、道路改良工	36.0 %
H29	206,860	用地取得・補償、道路改良工	40.9 %
H30	293,229	用地取得・補償、道路改良工	47.8 %
R1	973,122	道路改良工、トンネル工（1号トンネル）、橋梁上部工（2号橋）	70.8 %
R2	98,568	用地取得・補償、道路改良工	73.1 %
R3	203,264	用地取得・補償、道路改良工	77.9 %
R4	500,000	トンネル工（2号トンネル）、道路改良工、橋梁下部工（1号橋）	89.7 %
R5	300,000	トンネル工（2号トンネル）、道路改良工、橋梁上部工（1号橋）	96.8 %
R6	85,000	トンネル工（設備）、道路改良工	98.8 %
R7	50,000	舗装工	100.0 %
合計	4,233,800		